

第3章 すべての主体の参加と協働

第1節 すべての主体の参加と協働

今日の環境問題には市民生活や企業活動が大きく関わっており、「低炭素社会の構築」「循環型社会の形成」「快適な都市環境の確保」の実現には、市民・事業者・行政・教育機関・NPO等が各々の役割に応じ、問題解決に向けた行動を実践することが必要です。

そのため、すべての主体が環境問題について関心を持ち、正しく理解し、意識を高めること、環境問題の解決に向けた行動を実践することをめざした取組みを進めます。

1 環境教育・啓発の推進



(1) 環境学習関連施設

① 環境活動推進施設（なにわECOスクエア）

展示等による啓発を実施していた環境学習センターを平成25年度末に閉館し、一部改修のうえ、環境学習講座や区役所等との連携、環境NGO/NPO、環境ボランティア等のネットワーク強化のためのプラットフォームとして、活用しています。



② 自然体験観察園

環境活動推進施設に隣接し、かつての里山・田園風景を手本とし、人と自然との関わり合いを、体験を通じて学べる「国際花と緑の博覧会」の理念「自然と人間との共生」を継承した屋外フィールド施設です。田んぼ・畑を活用した様々な農事体験行事や、園内の自然観察会を実施しています。



③ 下水道科学館

都市の暮らしを支える大切な下水道の役割や仕組みなどを、楽しみながら、わかりやすく学んでいただける参加体験型の施設です。また、海外へ向けた下水道技術の情報発信を目的とした展示等も行っています。（平成30年4月からリニューアルのため休館中）



④ 自然史博物館

自然についての資料を収集し、その成り立ちやしくみ、変遷や歴史を、展示や普及活動、研究を通して広く知ってもらおう施設です。



ホームページ

<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>

⑤ 天王寺動物園

動物の生息地にいるような臨場感あふれる生態的展示をはじめ、各種普及行事、講話プログラムなどを用いた環境教育の推進及び種の保存を通じて、生物多様性の維持に貢献する動物園として発展し続けます。



ホームページ

<http://www.city.osaka.lg.jp/contents/wdu170/tennojizoo/>

(2) 主な環境教育・学習事業

環境教育・学習の推進に関しては、次の取組みを中心とした施策を進めてきました。

① 地域における環境教育・学習

地域ニーズに応じた環境学習講座等の開催や区民まつり等での啓発を実施しました。

平成 29 年度開催回数 157 回
参加者数 6,340 名

② 子どもの頃からの環境教育・学習

子どもの頃から、地球環境やごみ処理など身近な環境問題への意識の醸成を図るため、施設見学などの参加・体験型事業を実施しました。

ア. ごみ焼却工場等見学者の受け入れ

平成 29 年度年間見学者数 1,336 団体
32,493 名

イ. 小・中学校における体験学習の実施

平成 29 年度実施数：263 回

ウ. 「ポイ捨て禁止」ポスターの募集

平成 29 年度応募総数：2,329 点

③ 学校における環境教育の推進

各校園において、体験学習や問題解決的な学習を取り入れるなど指導方法を工夫し、各教科や道徳科、特別活動等、教育活動全般を通じて環境教育の推進を図っています。平成 23 年度より大阪

の環境の特色を踏まえた内容で構成する副読本「おおさか環境科」(小学校中学年・同高学年・中学生対象、平成 24 年度から活用開始)及び視聴覚教材を作成し、市立の小・中学校に配付して授業での活用を図っています。

また、平成 29 年度から大阪市の教育の電子データベース「waku^{x2}.com-bee (大阪市の授業のスタンダード)」で閲覧できるようにしています。

さらに、「環境教育指導資料」を大阪市教育センターホームページに掲載するとともに、環境教育研修(教職員対象)を実施しています。

④ その他の取組み

ア. ごみ焼却工場オープンデー

ごみ焼却工場での、ごみの処理工程やエネルギーの有効利用、公害防止対策への理解を深めていただくために、予約なしで自由に見学できるオープンデーを開催しています。

平成 29 年度 6 工場 参加者数 4,289 名

イ. 下水道科学館「参加体験型イベント」

汚水をきれいにする微生物の顕微鏡による観察、水質実験など参加体験型のイベントを開催しました。(平成 30 年 4 月からリニューアルのため休館中)

平成 29 年度実施数 17 回 参加者数 3,014 名

ウ. 水道教室

市内小学校や各地域などに講師を派遣し、水の循環及び水道水ができるまでについての説明や、浄水過程のミニ実験などを行っています。

平成 29 年度実施数 31 回 参加者数 1,300 名

エ. ECO 縁日

花博記念公園鶴見緑地内において、昔ながらの“縁日”を再現し、来場者が出展者の日頃実践している環境活動に関する発表や体験を通じて、人と自然、生活と環境の関わりについて学ぶイベントとして開催しています。



平成 29 年度 (11 月 4 日開催) 参加者数 13,223 名

(3) 啓発活動の展開

6月を「大阪市環境月間」、12月を「大気汚染防止推進月間」、「地球温暖化防止月間」と定め、

さまざまな啓発活動を実施しています。

2 すべての主体による環境保全・創造行動の展開

(1) パートナーシップづくり

「なにわエコ会議」

市民、環境NGO/NPO、事業者と行政との協働のもと、地球温暖化防止活動を推進していくことを目的に、平成16年度に設立以降、環境情報誌「なにわエコウェーブ」の発行や、地域と連携した環境教育・啓発イベント「環境ふれあいひろば」の開催など、地球温暖化防止に向けた実践活動を行っています。

環境ふれあいひろば in 東住吉区

日時…平成29年11月23日(木・祝)11時～15時
場所…東住吉区民ホール 参加者…約400名
開催内容…
・NPOや団体による体験型、展示型ブースの設置
・なにわエコ会議賞表彰式やなにわエコ会議の取組内容の紹介



(2) 自主的な環境保全行動の実践と支援

① 「見える化機器」の貸出

低炭素社会の構築に向けて、家庭からの温室効果ガス排出量を削減し、環境未来型ライフスタイルを創造するため、毎日の消費電力とCO₂排出量、電気料金をリアルタイムで確認できる「見える化機器」(省エネナビ)の家庭への貸出を実施しています。



② なにわエコライフ推進事業

大阪市域におけるCO₂の排出量は家庭部門の占める割合が近年増えていることから、家庭からのCO₂削減をめざす活動に取り組んでいます。

本事業では電気、ガス、水道の使用量を記録し、エネルギー消費量を意識することで、継続的な省エネ行動に取り組んでいただける、「チャレンジシート(環境家計簿)」を活用した連続講座の開催を始めとした普及啓発を推進しています。



③ 大阪市環境表彰

環境に対する意識高揚を図り、環境に配慮した活動を推進し、環境への負荷の少ない環境共生型・資源循環型社会の形成を促進することを目的として、環境の保全と創造に関し顕著な功績のあった個人、団体及び事業者(平成29年度 個人2名、団体及び事業者各2団体)を表彰しています。

④ 環境ビジネスの振興

【大阪環境産業振興センター(おおさかATCグリーンエコプラザ)の運営】

環境ビジネスや環境経営に取り組む企業・団体の紹介、関連中小企業の環境ビジネス機会の創出、ビジネス交流の場を提供することで環境関連産業の振興を図っています。

ホームページ <http://www.ecoplaza.gr.jp/>

